

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	健康なると21推進事業		担当部署	健康福祉部 健康政策課	
総合計画体系			根拠法令計画など	健康増進法、健康日本21(第2次)	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 17年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると			終期
(小項目)		保健・医療			
施策	7	健康・医療対策の推進			
基本事業	1	健康増進計画「健康なると21」の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	平成17年に策定した健康増進計画「健康なると21」に基づき、肥満予防や生活習慣病の予防等について、市民参加型のワークショップの開催等、計画推進のための取組みを継続し、市民の健康度をアップさせる。						
事業計画	27年度に何を計画していたか	平成26年度に引き続き、肥満予防ファイルの見直しを行い、平成27年度中にファイルを完成させ、関係機関と共通認識のもとに活用を勧めていく基盤づくりをする。 幼児期において身体活動の習慣をつけることは、以後の生活習慣病予防や幼児の発達を促すためにも重要である。 鳴門市は肥満傾向の小児が多いことから、保護者と共に身体を動かす機会を提供することで、生活の中に身体活動を取り入れることができるように、幼児への運動教室を実施し、評価の指標についても検討していく。併せて、小児の運動指導のできる人材を育成することで、教室終了後は、総合型スポーツクラブ等を活用して運動を継続していくことができるように支援する。成人の生活習慣病予防教室として、平成25年、26年に継続して、スロージョギング教室を実施していく。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		メタボ該当者の割合	17.0	16.0	15.0	15.0	15.0	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①ワークショップを開催し、各団体の取組みや今後の取り組み予定について、情報交換を行ったり、肥満予防ファイルの見直しについて協議を行った。 ②幼児の肥満予防及び親子での運動習慣の確立のために、キッズ運動教室を実施した。総合型スポーツクラブと連携して開催することで、地域で小児の運動指導ができる人材を育成し、教室終了後も継続して運動できる機会を設けた。 ③成人の生活習慣病予防を目的に、健康ジョギング教室を開催し、教室終了後も継続して実施できるよう、地域の総合型スポーツクラブや自主活動クラブを紹介した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ワークショップの開催回数	1	1	1	1	回
	2	ワークショップの参加人数	17	17	21	21	人
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	メタボ該当者の割合		17.5	17.8	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			89.9	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	平成27年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	369	0	316	165	850
		全体予算額		0	369	0	316	165	850
		決算額		0	339	0	298	153	790
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.2	0.0	1,372		2,162			

【事務事業名：健康なると21推進事業】  
(千円)

年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
事業費	290	790	975	975	975
うち一般財源	1	153	440	440	440
人件費	1,376	1,372	1,372	1,372	1,372
総事業費	1,666	2,162	2,347	2,347	2,347

◎項目別評価(CHECK)

評価項目	評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった キッズ運動教室や健康ジョギング教室を開催することにより、実際に市民が健康づくりを体験する機会ができ、非常に有効だった。
	効率性	B:概ね効率的だった 徳島大学や総合型スポーツクラブと役割分担することで、効率的に実施できた。
②成果に対する評価	指標名	メタボリックシンドローム該当者の割合
	目標	16.0 %
	実績	17.8 %
	評価	B:概ね目標を達成できた 健康なると21ワークショップやキッズ運動教室・健康ジョギングなどの教室を開催することによって目標達成に至らなかったが、少し割合が良くなった。
③総合的な評価	<b>B</b>	ライフステージ別に実践する機会を設けたことは効果があった。また、大学や総合型スポーツクラブと連携することで、継続して実践する機会を設けることなどもできたが、メタボリックシンドローム該当者の割合の最終目標達成にまてつながらなかった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	キッズ運動教室や健康ジョギング教室等、肥満予防や生活習慣病予防に対して実践の機会を設けるとともに、継続して取り組めるような支援体制が今後も必要である。また、市民が各自で健康づくりの取り組みができるよう、改訂版肥満予防ファイル(仮称:生活習慣サポートノート)の検討、完成を目指す。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	<b>3</b>
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	ライフステージにおける肥満予防及び生活習慣病の予防対策として、キッズ運動教室や健康ジョギング教室を継続して実施する。 肥満予防ファイルの見直し、充実を図り、改訂版肥満予防ファイル(仮称、生活習慣サポートノート)の検討、完成を目指す。			
	平成29年度	平成28年度事業を見直しながら対応をしていく。 改訂版肥満予防ファイル(仮称、生活習慣サポートノート)の積極的な周知、活用を促す。			